

## 平成 2 4 年 第 1 回 議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

開催日時	平成 2 4 年 5 月 2 6 日 (土) 1 9 時 3 0 分 ~ 2 1 時 3 0 分	
開催場所	相楽台小学校	
担当議員	班代表者	倉 克伊
	司会者	西岡 政治
	報告者	呉羽 真弓
	記録者	倉 克伊、西山幸千子
	班員 (上記以外)	炭本 範子、長岡 一夫
一般参加者数	8 人	
主な質疑 ・意見等	Q	介護保険料に 3 億円の基金を入れなかったらどうなっていたのか。3 年後の保険料のことを考えているのか。
	A	基金全てを入れて負担を下げる方向。3 年後は見直しがされる。全国では 5, 0 0 0 円以上の保険料が多い。 3 年で収支バランスを見る仕組み。次回は 2 6 年に試算して、2 7 年 ~ 2 9 年の保険料を算出する。
	Q	認定を厳しくして 3 億円を貯めたのでは。
	A	木津の小規模多機能施設はオープンしたが、加茂町域では出来なかったこともあり、市の福祉施策の中での金額。
	Q	山城病院は黒字か。
	A	山城病院は 6, 6 0 0 万円ほどの黒字。横の老健施設は 2, 3 0 0 万円の赤字。山城病院は整形外科医が 1 名来たことで、まだ不足ではあるが入院患者が増えた。2 4 年も同じ位であると予想している。 老健は構造上の問題が大きく、8 6 % の利用率。9 1 % の利用率でおおよそ 1 0 0 % に相当する。3 階建てのため監視も含め人件費がかかる。改善の余地がある。
Q	徳洲会病院問題。高の原病院に 5 0 床、学研都市病院に 5 0 床を振り分けたが、救急医療体制の不備は続いている。UR の跡地はどうか。	
A	山城病院が地域医療の期待に添えるように、組合議会でもしっかり指導発言して行く。	
Q	城山台の京大農地はその後どうなのか。	
A	高槻市議会では「用地買収・設計の予算」は通ったが、高槻市での売却が前提である。城山台の土地は 3 0 ha が 2 5 ha になった。まだ厳しい状況である。	

主な質疑  
・意見等

Q 新クリーンセンターは、燃やした熱で発電したらどうか。施設にメリット、デメリットはあるが、周辺の人々の電気代をタダにするなど、地域のデメリットを捨て去ると話が進むのでは。

A 国の補助もあり、発電設備は出来るが、94トンの炉であるために施設内を賄う程度の発電量。現地での住民説明会が出来ていないため、詳細はまだ進んでいない。

地元区と市は表立った協議になっていない。協議を始めるとクリーンセンターを認めることになると考え、地元での反発がまだある。「六価クロムの除去対策を先に済ませてから」が、地元の希望。

Q きつづふおとんの存続の意見書は、反対の意見が多かったように思うが、それぞれどう考えてどのような経緯で決まったのか。また、かかっている費用が、入場料に対して高かったようだが。

－ 参加者に事務局より、意見書のコピー配布 －

A 費用は8,400万円。入場料収入は500万円。ただし、市の持ち出しではなく、文部科学省が負担している。医療機器開発がメインの研究所に隣接しているが、原子力のPRをしている点は問題。

全国で類似施設が9カ所あったものが、事業仕分けにかかったこともあり、結果4カ所は閉鎖になった。基本的には原発PR施設。建設が決まった当時から問題が多かったが、木津町が認めて施設が出来た。きつづふおとんも縮小の検討がされている。

国や府からの開発である学研都市の位置づけの中で、「私のしごと館」も閉鎖され、企業数社も撤退している。きつづふおとんもなくなれば木津川市のイメージも悪くなる。光を使った体験施設として残しておくべきと考えた。

去年の事故があった後も、原発をPRしている。体験施設としては価値があるかも知れないが、素直な子どもたちに対して真実ではないことを教え込ませている状況はよくない。

Q 原発のPR施設としてではなく、違った形の存続を望んでいるというのが、議員の共通認識か。

A 違った形を望むという点で共通している部分があるかも知れないが、「意見書」としては反対があった。

Q 日経新聞で木津川市の議会改革が高く評価されているが、参加者の人数を見る限り、もっと若い人への周知をして参加してもらうべき。

議員自らが誘ってくる事も必要。報告会のやり方を考えては。

A 議会基本条例に沿って努力して来たことが評価されたと喜んでいる。議員が誘うことは取り巻きを連れて来ることになるので、本来の趣旨から外れるので避けるようにしている。回数は増やさなければいけないと考えている。また、名前ももう少し違うものにする、地域長に声をかける、地域のまつり開催時に参加して一画を借りて行うなどの提案もあるが、大きな課題であると認識している。

主な質疑  
・意見等

- Q 賛成・反対の個人の意見を伝えてほしい。
- A 個々の意見は議会の報告会であるので、控えている。議会だよりの賛否表で判断してほしい。
- Q 二元代表制であるのに、行政の代弁者に聞こえる。議員間での討議はどのようになっているのか。
- A 委員会内では「自由討議」もしている。討論も含め活発にされていると思う。  
厚生常任委員会の中で、請願が出された時や住基ネットの条例の時も自由討議がされたが、まだまだ未熟であると考ええる。私個人の意見ではあるが。
- Q 議員としての研修を含め、自己能力を高められているのか。政務調査費があるのでは。研修もするべき。
- A 政務調査費は会派議員は1万円、無会派議員は7千円。議員に対しての研修もあるし、また個々で研鑽する方法は、自分で研修に参加する、地域の人に聞きに行く、電話でも出来るし、いくらでも方法はある。それぞれが努力している。
- Q 今の議会の事務局体制は弱いのでは。他の自治体では、専門職を招聘していろいろと政策提言にも活用している所もある。
- A 政策提言のためには、事務局体制を充実させて行きたいとは考えているが、少ない人数で頑張っているのが現状。
- Q 決算委員会を充実させてこそ、予算書議も深まる。事業仕分けをしながらしている自治体もあるが。
- A 決算での指摘を次の予算でチェックしている。それぞれがチェックしていると思う。
- Q 木津川市は人口増であるが、そのうち減へと転じる。人口減を見越して予算は十分議論してほしい。議員研修会はもっとすれば良い。これは質問というより意見。
- A 議員研修も将来的には深めて行きたい。報告会の総括を次へと活かす。
- Q 休日診療所について、工事費や経費はどうなっているか。相楽医師会は、休日に診療する開業医は新規に加入させないと聞く。休日診療所を新たに開かなくても、開業医が休みに開けたら良い。  
健康診断や予防接種などを取り扱う指定医は、医師会の推薦する医師である。徳洲会病院が撤退した背景にも医師会が関わっていると聞いた。もっと議会としても医師会に対して強く対応せよ。
- A もともと京都府南部に休日診療所がなかった。山城病院にたくさんの方が行くことで、重篤な患者を診ることができなくなることを防ぐためにも、軽症な人を診る一次救急診療所として、相楽医師会や相楽薬剤師会の協力で、6月3日から開設される。  
広域事務組合の負担金の中で運営される。たくさんの方が利用する

<p>主な質疑 ・意見等</p>	<p>とは限らないので、それなりに経費はかかってくるが、休日診療所の開設は要望があったことも事実。徳洲会のベッド数についても、本来は市長が府に強く言うべき。府と医師会とのつながりが強かったとも言える。広域事務組合も経営が厳しい。</p> <p>Q 議会だよりには、市民にわかりにくい言葉が時々出て来る。合同樋門とは。</p> <p>A 木津合同樋門は、降雨等の際に木津川の水位と木津川支流の水位の差による内水被害を減少させるための調整施設。暫定的な対応ではあるが、台風シーズンまでに現在よりも優れた排水能力を持つポンプを整備するもの。</p> <p>Q 農業体質強化事業とは。</p> <p>A 国の第4次補正予算による、樋門・水路改修など農業基盤を整備するもの。</p> <p>Q 市民農園を利用しているが、市内では休耕田も多くなってきている。休耕田の活用がもっと出来るように「条例提案」を考えては。「議員提案」をもっとすべき。</p> <p>A 今回は行政の方で農地の台帳整理をしたので、紹介（賃貸）できるようになった。議員提案は前向きに考える。 田畑は特に草刈りが大変で、手入れが行き届かなくなる。農家と市民の交流も含めて、どのようにして行ったら良いのかが課題である。</p> <p>Q 兜台に住んでいるが、「府民」というより「奈良市民」の感覚が強い。高の原周辺を特区扱いとすれば。図書館・公民館・警察も他府県扱いで不便を感じる。</p> <p>A 消防団などは提携することで解決した。どのような方法が良いかも含めて、検討課題である。</p>
<p>質問・要望 等で行政側 へ報告すべ き内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会事務局の人員体制をもっと強化すべき。</li> <li>・最寄りの派出所が奈良県のために、いろいろと時間がかかる。警察という意味合いからも、もっと広域的に対応できるように市からも奈良へ申し入れてほしい。</li> <li>・市内の休耕田の活用を積極的に進めてほしい。</li> </ul>
<p>そ の 他 特 記 事 項</p>	<p>なし</p>

上記のとおり、報告します。

平成24年6月1日

木津川市議会議長 尾崎 輝雄 様

平成24年第1回議会報告会  
第2班 代表者 倉 克伊 ㊞